

令和2年度

## 学校自己点検・評価報告書

### 1. 本校の教育目標・方針

- 教育目標

時代に流されない「こころの教育」と時代に先駆けた「学習指導」で自立できる、社会に必要とされる学生・生徒を育成する。

- 教育方針

- ① 素直で何事にも真面目に取り組める生徒
- ② 礼儀作法を身につけ責任を重んじる生徒
- ③ 心身共に健全で根気強く目標に邁進できる生徒
- ④ 他と強調でき、かつ独自の強い意志で行動できる学生
- ⑤ 創造的な思考、行動のできる学生

- 本年度の目標

高等部

- ① 基礎学力の定着
- ② 資格取得の促進
- ③ 協調性のある生徒の育成

専門部

- ① 自ら課題を発見する力の養成
- ② 進路の意識向上
- ③ 留学生の日本語力向上と出席率向上

## 2. 教育活動

	目 標
教務 基礎 検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個に応じた編成される弾力的な教育課程、授業内容。</li> <li>● ひとつでも多くの学習指導が身につく丁寧な授業。</li> <li>● 生徒が授業に積極的に参加できる雰囲気をつくる。</li> <li>● 上級資格取得を目指させる。</li> <li>● コロナ禍でオンライン授業を行えるように準備をする。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校則遵守の徹底により規範意識を高める。</li> <li>● 相手の立場に立った言動ができるようにする。</li> <li>● 携帯電話（スマホ）の学校内外でのルールを守った使用を促す</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 聴く力（理解力）と話す力（発信力）を重視したコミュニケーション能力の育成。</li> <li>● 採用試験合格のための学力向上。</li> <li>● 進路アドバイザーやキャリアコンサルタントの適切な支援を受ける。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部活動への参加者増を図る。</li> <li>● 自主的な活動ができるようにする。</li> <li>● 課外活動を積極的に実施。（専門部）</li> </ul>

## 3. 学校運営

	目 標
環境 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緊急連絡網・ホームページによる連絡体制の整備。</li> <li>● モニタリングポストでの線量確認。</li> </ul>
施設設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化した施設・設備の更新、修繕。</li> <li>● 一般教室で行われる授業での環境改善。</li> <li>● 震災、及び水害（2019）前への復旧工事作業。</li> <li>● コロナ禍で検温器具・消毒薬やアクリル板の設置。</li> </ul>
広報 生徒募集活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホームページの更新、充実。</li> <li>● 公開授業、学校説明会の実施。</li> <li>● 中学、高校等への積極的な情報提供。</li> </ul>
留学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生寮の環境整備・生活支援。</li> <li>● 日本語教育の強化と奨学金制度の創設。</li> <li>● コロナ禍によりアルバイトが無くなったり勤務時間が減少したことでの収入減による金銭補助・支援。</li> </ul>

#### 4. 自己評価と今後の課題

教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個に応じたカリキュラムを組み、教員が丁寧な指導を心がけることによって、生徒が「わかる」授業を行うことができた。ただ、教科により能力差が顕著に出る教科は、より細かな個別体制が必要とされる。</li> <li>● 検定においては授業の成果も出て、個々人が多くの資格を取得することができた。</li> <li>● 年に数回、アートコミックコースに在籍する生徒のいわき市美術館見学を実施し、個々の作品作りに活かした。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校則遵守の意識をしっかりと持たせることにより、校則に違反する生徒はほとんどいなく、指導により改善された。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍により就職環境は良くなかったが、就職指導については進路アドバイザーの協力を得て、講話の実施、個別指導、就職面接会への参加などを行い、就職希望者に対して半数以上が進路決定することができた。</li> <li>● 進学についても、進路相談をよく行い、各自希望する大学や専門学校への進学を決定することができた。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在籍生徒数の減少により、部活動の参加人数は低迷しているが、高体連・高美連には継続して参加することができた。</li> <li>● 卒業生に対して年金教室を開き、各種年金に関する知識を広めることができた。</li> <li>● コロナ禍により春先の行事は中止となったが、7月以降は環境に配慮しながらほとんどの行事が開催された。</li> </ul>
環境・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年同様、緊急な連絡体制も整備され、今後に役立てることができた。</li> <li>● 校内設置のモニタリングポストにより、リアルタイムで放射線量がわかり、毎日の安全を確認することができた。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症への予防対策を徹底し、校内から感染者を出すことはなかった。</li> </ul>
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 震災時前への復旧工事について、まだ着手していない場所について作業を検討していく。</li> <li>● 水害（2019）被害からの職員玄関周辺等の復旧・整備を行った。</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年同様ホームページの更新も定期的に行うことができ、内容も充実させることができた。</li> <li>● 例年通りの公開授業・学校説明会を実施し、生徒募集を行った。</li> </ul>
留学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生寮の内外を定期的に清掃し、環境を整備した。</li> <li>● 学校行事（遠足・スキー教室）に対する経済的支援を行った。</li> </ul>